

歴史とロマン

～古代ローマからの伝言～

シンキング・バーズ

日本語研究班

● ロマンチックじゃないお話

語

り継がれて来た歴史 (history) や古い遺跡などに、「ロマンを感じる」人は数多くいます。ある種の妄想が膨らむのか、過去の出来事を「物語 (story)」にして、歴史を楽しむ人たちです。ワタシは、歴史の楽しみ方としてそれもありかなとは思いますが、「やっぱりちがうんじゃない？」という思いが一方にあります。

「ロマン (Roman)」という英語にはもちろん、日本語の「ロマン」という意味はありません。「ローマ的な」「ローマ人風の」という意味なので、「ロマンを感じる」って、いったい何のこっちゃ、です。万里の長城に行って「ロマンを感じ (I feel Roman.)」たら、中国はローマか！ 頭おかしいんじゃないか！ (You are crazy!) になっちゃいます。

ヨーロッパの芸術史として、「ロマンチズム (Romanticism ロマン主義)」が台頭したのは、18 世紀末～19 世紀初めと言われています。「ロマンチスト (Romantist)」が担ったことになり、ゲーテやヴィクトル・ユゴーなどの作家を挙げるのが一般的です。彼ら自身が「ロマンチスト」を自認したかどうかは分かりませんが、「ロマンチズム」は元々、古代社会を空想するような、ウソもホントもゴチャ混ぜの妄想癖を指して、使われ始めたのかもしれない。

日本では、大正時代頃から「浪漫 (ろまん/ろうまん)」という漢字を当てて使い始めました。「ローマ」は「羅馬」と表記され

たので、「浪漫」と「ローマ」は、何の関係もない語になりました。近代日本語に良くある話ですね。結局「浪漫」は、本来の意味をそっちのけにして、勝手に独り歩きを始めちゃいました。「浪漫」・・・「浪のようなそぞろごと」？ まあ、そんなものでしょうね。「大正ロマン」・・・？ 「大正 (古代) ローマ人」って、どういうの？

「ロマンチックなロマンス」という表現を、ワタシたち日本人は、どんな意味として受け止めるでしょう。解説の仕方に苦心しますが、「良い感じの中での恋愛」のようなニュアンスで書いたつもりです。

でもね、だいたいからして「ロマンチックなロマンス」っていう言い方自体、変でしょ。「妄想的な恋愛話」？ 妄想の限りを尽くしたような、変てこりんな脳内恋愛話になりやしませんか？

ワタシは、「ロマン」という日本語が醸し出すニュアンスを、理解できない訳ではありません。ただ「ロマン」の素地には、「ローマ」という固有名詞があるのだから、せめてその結びつきくらいは分かる思慮を持って、「ロマンを感じ」て欲しいのです。

歴史はたぶん、ワタシたちが「ロマン」を感じるような「物語」ではありません。「物語」は、人が編んだ妄想の「作り話」ですが、大半の歴史の実相は「ロマン＝ローマ的」・・・な訳ないじゃないですか。

(2019年7月31日)

